

PROFILE

ヒロシタ



斉藤 浩 SAITO Hiroshi (ツィンパロン Cimbalom)

大阪音楽大学作曲学科卒業。ハンガリー政府給費留学生としてブダペストに留学。2003年、エチュード音楽院ツィンパロン科首席卒業、ディプロマ取得。その後、ハンガリー国立リスト音楽院を経て、2004年、学長特別推薦によりスロヴァキア国立バンスカー・ピストリツァ芸術アカデミーに編入。2006年、同校首席卒業。この時、アジア人として初めてツィンパロン・ソリスト・ディプロマを授与された。

2004年、バラッジャジャルマツ国際コンクール第1位。

これまでにスロヴァキア国立バンスカー・ピストリツァ歌劇場管、ジュール・フィル（ハンガリー）、N響、読響、新日本フィル、いずみシフォンエッタ大阪、京響などと共演。またサントリーホール サマーフェスティバルでは、2006年にレンツ《星》、2008年にジェルヴァゾーニ《イーレネ・シュティンメ》、2014年にデュサバン《風に耳をすませば》の初演にも関わった。ソロ・リサイタルをハンガリーだけでなく日本各地でも開催、好評を得ている。クラシックをはじめ、中欧の民俗音楽、ジャズ、映画音楽、現代音楽にいたるまでレパートリーは広く、日本を代表するツィンパロン奏者として注目されている。

2025年はNHK大河ドラマ『べらぼう』オープニングテーマでN響と共演し、話題を呼んでいる。

水野 慎太郎 MIZUNO Shintaro (ヴァイオリン Violin)

鈴木メソッドにてヴァイオリンを始める。名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。2004年～2006年 チェコ共和国ブラハコンセルパトワールへ留学。勉強の傍ら、現地南米人らとタンゴバンド「SIN-RUMBO」を結成し、ヨーロッパ各地で演奏。

2006年、2017年 アルゼンチンに短期留学。ピアソラ五重奏団最後のバイオリニスト、フェルナンド・スレスパス氏に師事。帰国後はタンゴ界の重鎮、志賀清氏の手ほどきを受ける。また、ジャズバイオリンを北床宗太郎氏に師事。

2012年 無伴奏アルバム「PLAY TANGO」をリリース。2012年～2016年まで毎年、アルゼンチン人作曲家「ホセ・エルナン・シビルス」とのユニットで 日本横断コンサートを行い、デュオCD6枚「Musica Viva」、「ふるさと」、「月のうさぎ」、「La Paz Anhelada」、「八木節」、「Preparense」を、また、ピアニスト綾部美和子と「道草」を発表。東京、大阪、奈良タンゴ祭に出演。また多数のTVCM、ラジオドラマ、TVドラマにて演奏。後進の指導を務めながら、多方面で活動中。

2022年、名古屋市文化振興事業団が主催するオペレッタ伯爵嬢マリツァ（指揮：井崎正浩ソノク市芸術監督/管弦楽：愛知セントラル交響楽団）公演において、舞台上演奏するジブシー楽団「パリンカーシュゼネカル」としての共演がきっかけとなり、デュオを結成し活動を始めたのがHIROSHINTA ヒロシタです。

SNSでの動画が話題となり、同年12月に島根県安来市総合文化センターアルテピア「HAGANE MUSIC シリーズ」にも招聘され、ウクライナの歌手（民俗楽器バンドウーラの奏者でもある）カテリーナ・グジーさんと共演。その後、小中学校へのアウトリーチをはじめ、「平和のための音楽活動」を全国へ広げています。

ツィンパロンについて

ツィンパロンは、西アジアに起源をもつ楽器です。130本以上もある金属弦を、綿を巻いたバチで叩いて演奏します。ハンガリーやチェコ、スロバキアなど中欧の国々ではレストランで演奏しているロマ楽団の中にこの楽器を見ることができ、目にも止まらぬ早ワザで、そこにいる人々を魅了します。また、フォークロアの楽器としても、民俗楽団の中で民謡や舞踏も演奏されています。さらに近年、現代音楽の分野でも新しい音楽材として注目されています。

ラーザール アティツラ LÁZÁR Attila (踊り tánc)

旧ハンガリー（現ルーマニア）のトランシルヴァニア・カロタセグ地方ガールテルケ出身。カロタセグ地方における民俗舞踊継承指導者。チュレの「ジェンジュヴィラーク（すずらん）」民俗舞踊団及びグルバウ民俗舞踊団の設立指導者。ハンガリーで開催された第1回国際男性舞踊コンテストにおいて特別賞受賞、カロタセントキライ国際民俗音楽・舞踊キャンプ男性舞踊コンテスト第三位・特別賞受賞。民俗文化の宝庫といわれるトランシルヴァニア・カロタセグ地方で生まれ育ち、その伝統を次世代に伝えることのできる貴重な存在として地元及び国外で活躍。2013年には、地元カロタセグの人によるカロタセグの人のための男性舞踊大会を発案・実現させ、それまでにはなかった地元中心の催しとして注目を集めた。2005年の初来日以来、日本においても各地で民俗舞踊指導・出演を多数行っている。子どもや一般市民向けから愛好者向け、学術機関向けまで、様々な対象に対応した内容を提供し、現地の民俗文化に関する幅広い知識と経験に基づいた話やユーモアとエネルギーに満ちた公演・講習は毎回好評を得ている。2019年より愛知県瀬戸市の飲食店ナトゥール・ビュフェにて、トランシルヴァニアの郷土料理と民俗文化を紹介している。



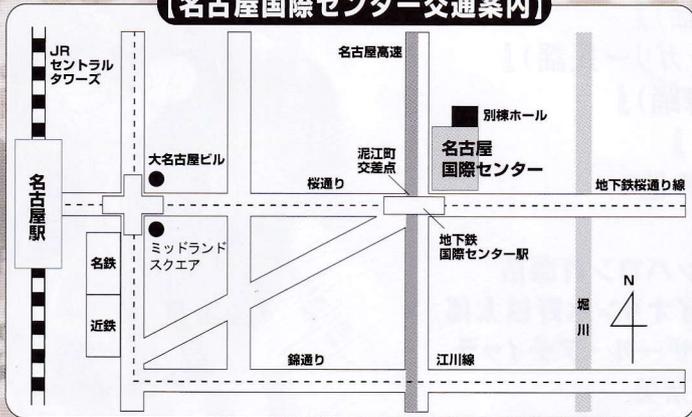
大塚 奈美 OTSUKA Nami (踊り tánc)

愛知県出身。4歳より音楽を学び、ハンガリーのゴダイやバルトークの音楽と出会う。7歳よりクラシックバレエを学び、お茶の水女子大学教育学部舞踊教育学科ではモダンダンスを中心に、幅広いジャンルの舞踊を学んだ。同大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻ではハンガリーの民俗文化復興運動である「ターンツハーズ運動」についての研究を行い、2001年に修士（人文科学）の学位を得た。修士取得後はハンガリー政府奨学金留学生としてエトヴェシュ・ロラント大学民俗学科、舞踊芸術専科大学民俗舞踊専攻、ハンガリー科学アカデミー音楽学研究所民俗舞踊部門等で聴講・研究。帰国後総合研究大学院大学文化科学研究科比較文化学専攻博士後期課程に進学し、国立民族学博物館を拠点に研究活動を継続した。2010年に同課程を単位取得満期退学後、大阪大学外国語学部非常勤講師を経てハンガリー政府奨学金留学生としてセグド大学民族学・文化人類学科に留学し、舞踊人類学研究に従事した。

2011年以降は愛知県を拠点とし、トランシルヴァニア日本民俗文化センター代表及び愛知県ハンガリー友好協会理事としてハンガリーやトランシルヴァニアと日本の文化交流に携わり、通訳・翻訳・ハンガリー語指導等も行っている。

2012年のターンツハーズ運動40年に際しては、ブダペストで開催された記念国際会議に招聘され、ハンガリー語で口頭発表を行った。2013年1月にはターンツハーズ運動40年・無形文化遺産指定記念事業を日本の複数の都市で行った。

〔名古屋国際センター交通案内〕



公共交通機関

- 名古屋駅から東へ徒歩7分
JR「名古屋」、名鉄「名古屋」、近鉄「名古屋」、地下鉄「名古屋」駅から徒歩7分です。
- 地下街「エモール」を直進していただくと、地下鉄桜通線「国際センター駅」及び名古屋国際センタービルの地下とつながっています。
(財)名古屋国際センターへはビルの低層階エレベーターをご利用の上起こしてください。
- 地下桜通線「国際センター」駅下車すぐ
- 市バス「国際センター」下車すぐ

高速道路

- 名古屋高速「丸の内」出口から
出口から直進し、「日銀前」交差点を右折して桜通を名古屋駅方面に向かい、「泥江町（ひじえちよう）」交差点手前で右折してください。
高速出口からの所要時間は約5分です。

別棟ホールへの行き方

ホールへの出入り口は地上のみですので、地下からお越しの方はビル1階の北側出口からホールへお入りください。

問合せ先 志村 Tel/Fax : 0568-76-4347
090-1090-3437

E-mail : ambt@hotmail.co.jp
協会のHPアドレス : <http://aicssimagyar.sakura.ne.jp/wp/>

ハンガリーフェスティバル 申込書

氏名	
住所 〒 □□□□□□□□	
電話番号	メールアドレス
友好協会会員ですか？ Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>	備考

FAXでのお申し込みは、0568-76-4347